

e-dream-s 通信

No. 109 発行：2010年5月9日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

皆さま、e-dream-s 通信5月号をお届けします。どうぞお楽しみください。

目次

1. 設立10周年に向けて	中川 房代	p.2~3
2. ほっと一息の幸せ	井川 好二	p.4~8
3. 同じ釜の飯を食う	塚本 美紀	p.9
4. ホームベーカリー	山田 昌子	p.10~11



カンボジア王宮にて(2008.2. 道面 和枝撮影)

設立 10 周年に向けて

中川房代

3月12日は、e-dream-s が誕生した日。2000年3月12日にNPO法人設立のための総会を開催しているおり、今年で満10歳となった（正式にNPO法人に認証されたのは7月）。来る8月のe-dream-s 定時会員総会は、設立10周年を記念して行うことになる。

それに先がけて、5月末に「第34回理事会」を開催する。ここ何年かは、毎年3回の理事会を持っているが、5月末～6月初めに行うこの理事会は、1年間の総括と次年度の方針を論議する重要な機会となっている。昨年は名古屋で開催し、カンボジアからの留学生の Sokhom さんが参加してくださったが、今年には Sokhom さんに加え、同じくカンボジア人留学生の東京在住の Sopa さん、広島在住の Akhara さんも来てくださる予定で、大変楽しみである。カンボジア・プロジェクトの企画が進むよう、理事会に向けて準備をしていきたい。

現在、全国のNPO法人の数は3月末で39,734、寄附金など税制上の優遇措置を受けることのできる「認定NPO法人¹」も136（5月1日現在）あるが、今年は政治の場でも、NPOを巡っての動きが活発になってきているようだ。

4月8日に、政府税制調査会のプロジェクトチームが、認定NPO法人制度の抜本改正を謳う中間報告²を公表、4月25日には、鳩山首相がシンポジウムで、「寄付税制を含めた『新しい公共』を参院選の争点にしたい」と述べ、NPO法人への寄付金に税額控除を適用する制度を今夏の参院選のマニフェストに盛り込む考えを示した³ということだ。

また、NPOの側でも、各地のNPO支援センターや公認会計士・税理士らからなる委員会を立ち上げ、NPO法人会計基準策定のための作業を行ってきたが、先日その「最終案⁴」がまとめられた。これまで団体によってバラバラだった会計報告に基準を作り、市民にとってわかりやすいものにするすることで、NPOへの信頼性を向上させ、市民や企業などからの支援を得やすくすることがその目的である。

日本にNPOが制度として誕生して11年、既に十分に日本社会に定着した。制度上、運営上の改善点も明らかになってきて、今後いろいろな面での改善が図られることになるだろう。e-dream-s も、次の10年に向けて、新しいスタートを切っていきたい。

¹ 既にNPO法人になっている法人のうち、一定の要件を受けたものを「認定特定非営利活動法人（以下「認定NPO法人」と略）」と認定し、その認定NPO法人に対して税の支援措置を与えるということが基本的な内容です。NPO法人は、税務署を通じて、認定NPO法人の認定申請をすることができ、国税庁長官は、この申請した法人が、一定の要件を満たすと認めるとき、その法人を「認定NPO法人」と認定することになります。

http://www.iva.jp/npo/c_npotoha/c4_npo_nintei.htmlより

² 税制調査会 平成22年第1回全体会合資料（平成22年4月8日開催）「市民公益税制PTの中間報告書について等」<http://www.cao.go.jp/zei-cho/gijiroku/zentai22.html>

³ <http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/100425/plc1004252048003-n1.htm>

（産経ニュース 4月25日）より

⁴ <http://www.npoweb.jp/modules/news1/article.php?storyid=3267>

（NPOWEB ニュース）より

【第34回理事会】

- ・日時：5月29日（土）～30日（日） 奈良県内で開催を予定
- ・議案（予定）：
 - (1) 2009 事業年度事業総括及び収支決算報告
 - (2) 2010 事業年度事業方針及び収支予算
 - (3) その他

ほっと一息の幸せ

井川 好二

5月に入って晴天が続き、気温が急に上がって夏日⁵になったかと思うと、ゴールデンウィーク直後に雨が降り、朝夕肌寒い気候に逆戻り。不順な季節である。

「この雲丹どうぞす」

と、女将が運んで来たのは、雲丹の昆布醤油漬け、雲丹酒盗⁶。



丸秀の雲丹酒盗⁷

「うん、旨い。醤油漬けにしても、かなり新鮮な雲丹」

「お馴染みさんが、ロスのお土産云うて、持ってきてくれはったんどす」

「へえ、ロス土産の雲丹酒盗？」

「なんでも、サンタバーバラ⁸の沖で獲れた雲丹が、抜群に美味しい云うたはりました」

「サンタバーバラ？ロスの近くや」

⁵なつ - び【夏日】夏の暑い日。特に、一日の最高気温がセ氏二五度以上になる日。◇セ氏三〇度を越えると「真夏日」という。[明鏡国語辞典]

⁶しゅ - とう【酒盗】カツオの内臓の塩辛(しおから)。◇これを肴(さかな)にするとますます酒がすすむことから。[明鏡国語辞典]

⁷ <http://www.maruhide.us/index.html>

⁸ サンタバーバラ Santa Barbara アメリカ合衆国，カリフォルニア州南西部，ロサンゼルス西方約 150km にある都市。町の起源は、18 世紀後半にさかのぼり、港と農産物市場であった。19 世紀中頃アメリカ合衆国領となる。サザン・パシフィック鉄道が開通してから太平洋岸の保養地として発達した。釣りなどのレクリエーションが盛んである。カリフォルニア大学サンタバーバラ校，ウェストモントカレッジなどがある。人口 8 万 5571 (1990) (ブリタニカ 2008)

「そこが雲丹の産地で、そこで獲れた雲丹を日本向けに加工したはるんですて」

「へえ」

このアメリカ産の雲丹は、「赤雲丹⁹」という種類で、日本国内で多く出回る「馬糞雲丹¹⁰」とは異なっているらしいが、甘みが強く旨い。遠くから届いた珍味を肴に、新潟の酒「八海山」を飲むと、気持ちがゆっくりとほころんでくる。

「ゴールデンウィーク、ちょっとは、お休みされました？」

「ゆっくり云うわけやないけど、少しは」

「よかった。センセ、4月はホントにお疲れみたいどしたし」

4月に学校が始まる日本で、5月になるのが待ち遠しいのは、生徒や学生だけではない。教師にとってもやっと一息。少し休んで、疲れた身体と心の回復を待ち、夏休みまで頑張る見通しを立てて、再びお仕事にかかる。ゴールデンウィークまでは何とか持ちこたえてと、自分に言い聞かせるのが、毎年のルーティン。これを外すと後がなくなる。

それにしても、今年は天候不順に加え、ハイチや中国など世界各地で大地震が発生した。3月終わりには、アイスランド¹¹のエイヤフィヤトラヨークトル氷河¹²一帯の火山が大噴火し、その噴煙と火山灰の影響でヨーロッパのほぼ全域に渡り、航空機の運行に重大な混乱を引き起こすこととなった。

⁹ アカウニ *Pseudocentrotus depressus* 棘皮動物門ウニ綱サンショウウニ目ラッパウニ科。食用。殻は赤色、殻径約 7cm で扁平。大棘は 2cm 内外で先端は鋭くなく、赤褐色、白と赤褐色の混ったものなどの変異がある。日本固有種で、東京湾から九州までの浅海に分布する。(ブリタニカ 2008)

¹⁰ バフンウニ *Hemicentrotus pulcherrimus* 棘皮動物門ウニ綱拱歯目オオバフンウニ科。殻径 5cm、殻高 2cm 以下の暗緑色のウニで、形、色などが馬糞を思わせるのでその名がある。とげは短小で 1cm 以下。4 月頃成熟する。卵巣を塩漬やアルコール漬にして食用とするが、雲丹(うに)の原料としては最高とされる。北海道南部以南に分布し、潮間帯付近の岩石下などに普通にみられる。(ブリタニカ 2008)

¹¹ アイスランド **【Iceland】** 大西洋北極圏付近の大きな火山島。共和国。1918 年デンマークの主権下に自治国家となり、44 年完全に独立。面積 10 万 3000 平方メートル。人口 28 万 9 千(2003)。住民は主に新教徒(ルター派)。首都はレイキャヴィク。アイスランド語名イースラント。氷州。[株式会社岩波書店 広辞苑第六版]

¹² <http://ja.wikipedia.org/wiki/2010年のエイヤフィヤトラヨークトルの噴火>



アイスランドの火山噴火¹³

「友達が、結婚してドイツにいてるんやけど、その旦那が、火山学者で、いろんな国の火山を調査してるらしくて、日本や中国やハワイの火山にも来たらしいねんけど」

「へえ」

「今年は、アイスランドの火山調査に行く計画があったらしい」

「ええ、アイスランドで、今エライことになってますのに」

「そや、それで、どうしてるかなと思てな」

「なんぼ調査や云うも、まだ噴火してるそこへ、行きはりますか？」

「どやろ、中止かな。けど、今年はホントにいろんなことが起こる」

「ホンニ」

経済危機に直面するギリシャでは、反政府デモ隊と警官隊との衝突で死者がでる事態となっている。メキシコ湾では、海底油田からの原油流出が止まらず、海洋汚染が続いている。

タイでは、反政府デモ隊が、首都バンコク中心部を占拠し続けている。デモ隊とタイ国軍の衝突では、日本人カメラマンを含む20数名の死者がでた。毎年多くの観光客が訪れるゴールデンウィーク期間中にも、日本からタイへ遊びに行った話は聞かない。

¹³ http://en.wikipedia.org/wiki/2010_eruptions_of_Eyjafjallajökull



バンコク中心部を占拠する反政府デモ隊¹⁴

「よう知ってる友達、この頃仕事でバンコクへ行くことが多いらしい」

「へえ」

「それでこないだ、バンコク市内のビジネス街、シーロム地区歩いてたら、いきなりロケット弾飛んで来て、びっくりした云うてた」

「ああ、恐っ！けど、びっくりどころやおへん・・・」

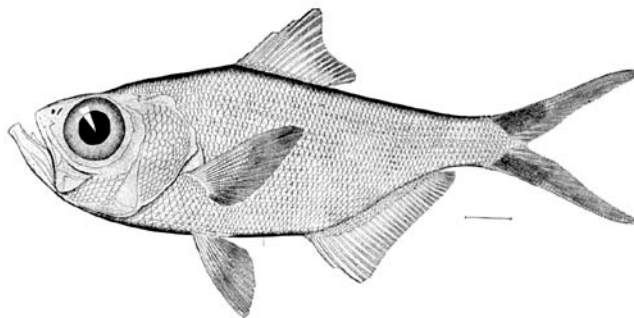
「そや、本人もかなりショックやった云うてた」

「バンコクとか、今行かはらんでも・・・」

「無事で帰ってきたけど、また行かんならん云うてた」

「・・・」

仕事で行かざるを得ない場合もあるが、できれば願い下げにしたいもの。タイには昔よく行って、北部の都市チェンマイには知り合いがいるが、逢う機会がなくなって久しい。無事を祈る。



金目鯛¹⁵

「けど、世界中のあちこちで、恐ろしいことがいっぱい起こってるときに、こうやってゆっくりできるのは、幸せやな」

¹⁴http://special.reuters.co.jp/contents/thai_article.html?storyID=2010-05-05T032521Z_01_NOOTR_RTRMDNC_0_JAPAN-151258-1.xml

¹⁵ http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/7/78/Beryx_splendens.jpg

「ホンニ、そうどす。ゆっくりしてもろて、美味しいお酒飲んでもろて、また明日から、お仕事、お
気張りやす」

「そなや、そう思たらありがたいこちゃ。そしたら、ありがたついでに、もうちょっと飲まして貰お
か」

「へえ、ほな、うちもお相伴」

世界にも自分の周りにもいろいろあるが、ゆっくりできる時があつて、また、前に進める。もうなくな
った雲丹酒盗に代わって、金目鯛¹⁶の刺身を肴に、八海山を飲む。(Saturday, May 8, 2010)

¹⁶ きんめ - だい【金眼鯛】キンメダイ科の海産の硬骨魚。体はやや長く側扁し、紅色。眼は大きく、黄
金色に輝く。ほぼ世界中の深海に分布。ニシキダイ。[株式会社岩波書店 広辞苑第六版]

同じ釜の飯を食う

塚本美紀

昼からの勤務になり、生徒と一緒に夜の給食を食べ初めて1ヶ月が経とうとしている。給食を待つ列に初めて並んだ日、ガソリンスタンドでのバイトから直行して来たのかスタンドの名前の入ったユニフォームを着た男子生徒が私の近くに寄ってきて、「先生、見らん顔やね。新任？」と話しかけてきた。「いや、ここは8年目やけど、夜は初めて。よろしくお願いします。」と私が頭を下げると、「うん。すぐ慣れるよ！」と言ってくれた。その言葉通り、初めはほとんどが馴染みのない生徒だったのに、今では食堂に行くと、何人もの生徒が声をかけてきてくれ、私もすっかり夜のメンバーの一員になれた気がする。

朝から夕方までの勤務の時は、夜の生徒は行動も言動も乱暴な生徒が多いように感じていた。確かにそうではあるが、彼らとつきあうようになって、乱暴な行動は素直な心の現われだったり、乱暴な言葉遣いは親しみの表現だったりすることがわかってきた。一般的には朝から夕方まで学校にいるのが普通の形であり、わざわざ夜の学校に通うのには、昼間に仕事をしなければならない経済的な状況があったり、朝起きるのが難しい睡眠障害の状態にあったり、大きな集団の中では適応しにくい病気だったり傾向だったりがあったり、学力的に難しかったり、何らかの理由がある場合が多い。長年、夜の生徒に接してきた教員は、そんな彼らと上手に接する方法をいくつも心得ているように思う。完璧を求めず、気長につきあっていくという姿勢もその一つだ。また、「いやなことは、給食を食べている時に言う」というのも一つの技だと言う。物を食べている時、人は不機嫌になりにくいのもかもしれない。ある生徒に廊下で会った時に、「最近、私の授業に出てないね。」と言うと、これ以上は言うなと言わんばかりに横を向いて「今度から、出るっちゃ！」と言う生徒も、給食の時だと、「ごめんちゃ、先生。俺も出ようとは思ってるとんよ。」と笑いながら言う。

窓の外は暗い中、蛍光灯の明かりのもとに集まって給食を食べるのは、不思議と親近感が高まって、まるで大きな家族のようにも思える。他愛のない話をしながら、たぶん一日のうちで一番のご馳走を、ひよっとしたら一日のうちの唯一の食事を、毎日一緒にとるというのは、否が応でも連帯感が生まれるからだろう。まさに「同じ釜の飯を食う仲間」だ。

「同じ釜の飯を食い」ながら、私は今、新しい人間関係を築き始めている。これは、大きな意味での異文化間コミュニケーションとも言えるかもしれなくて、先輩たちを見習いながら、いろんなストラテジーを試しつつ、自分の中の「異文化理解」の枠を少しずつ広げようとしている。

ホームベーカリー

山田昌子

3月にホームベーカリーを買った。それ以来、すっかり食パン作りにはまってしまった。炊飯器でご飯を炊くのと同様、強力粉等の材料を入れ、タイマーをセットしておけば、朝にはパンが焼けている。目が覚めると、家中がパンのいい香りでいっぱいとなり、なんとなく幸せな気分になる。



昨夏帰国してから体調がすぐれず、絶好調だったサンフランシスコでの食生活に戻せるところは戻そうと思い、スーパーや近くのお店で買い、毎朝食べていた全粒粉¹⁷のパンを探し回った。「添加物を含まず自然の素材をバランス良く配合し作った」という歌い文句で、全粒粉を使っているドーナツ¹⁸に出会うことは出来たが、京都で、また近所で、全粒粉100%のパンを販売しているパン屋はなかった¹⁹。それなら自分で作ったらどうだろう・・・と考えている時、塚本理事がホームベーカリーを薦めてくれた。折しも同僚が自宅のホームベーカリーを貸してくれ、私はとうとう決心し、写真(右上)のホームベーカリーを購入。後でわかったことだが、2～3月は1年中でホームベーカリーが一番安い時期だった。

私が購入したホームベーカリーは、強力粉だけでなく、全粒粉やライ麦、米粉のパンも出来るし、ドライイーストのみならず、天然酵母でも作れる。また、レーズンやドライフルーツ、ごま、ナッツなども自動投入でき、豆乳パンやミルクパン、果汁パンなども作ることができる。私は、これらのものを入れてみたり、全粒粉100%や、全粒粉50%と強力粉50%のパンなど、試行錯誤を繰り返しているが、簡単に作れ、毎回独特の風味があり、どれも楽しんでいる。両親のために、皮が柔らかできめ細かい白パン(写真左)を焼いたり、時にはチョコとバナナのコンビネーションのパンである、ショコラ・バナナヌ²⁰にも挑戦してみた。バターケーキやチョコケーキも焼いてみた。それ程パンが好きでなかった私が、自分で作ったパンと野菜・卵中心のお弁当を毎日職場に持って行くようになった。



最近のホームベーカリーには、パン作りのみならず様々な機能がついている。このゴールデンウィークは、ピザの生地作り機能を使って、初めてピザ作りに挑戦し、家族にも好評だった(写真下)。父は、生

¹⁷ 全粒粉(ぜんりゅうふん、英語: whole wheat flour)とは、小麦粉の一種。小麦の表皮、胚芽、胚乳をすべて粉にしたものである。胚乳だけを用いる通常的小麦粉と比べ栄養価が高く、薄力粉と比較して3倍程度の食物繊維や鉄分を含む。ビタミンB1の含有量も高い。そのため、健康を目的として用いられることも多い。不純物を多く含むため、粉の色はやや茶褐色を帯びる。製品はそれら不純物による独特の風味と食感を持つ。(Wikipediaより) <http://ja.wikipedia.org/wiki/全粒粉>

¹⁸ フロレスタ(floresta)。 <http://www.floresta.jp/>

¹⁹ 全粒粉20～30%を配合という食パンは見つけたが、それ以上はなかった。

²⁰ 大阪の人気ベーカリー「ブランジュリ タケウチ」のホームベーカリーで作るパンのひとつ。

<http://panasonic.jp/bakeryclub/takeuchi/index.html>

まれて初めてピザを食べたという。

私のホームベーカリーでは出来ないが、うどん生地やパスタ生地、お餅を作ることもできる。ご存知の方も多いと思うが、調べてみると、ホームベーカリーを使わなくても、自分でピザやうどんなどの生地が作れることがわかった。私は、早速、大好きなうどんを作ってみた。また、餃子の皮も作ってみた。これまで、難しそうだと勝手に思い、ハードルを高くしていたが、実際にやってみると、思っていた程大変ではなく、むしろ自分で作る楽しみの方が大きいと実感。余分な添加物もなく、ヘルシーだとも思う。



一歩前に進んでみると、違う世界が見えて来て、新たな楽しみが増えるという事は、よくあることだろう。ホームベーカリー購入のお陰で、私はパン作りから他の料理にも挑戦ができ、私の料理のレパートリーが増えた。失敗もするし、思ったとおりの味にならないことも当然あるが、それも成長のためのひとつのプロセスか。「難しい!」「苦手!」と線を引かずに、ちょっとだけチャレンジしてみる、粉もの以外にも、もっと様々なことに挑戦、エンジョイしてみたい!ピンクのホームベーカリーを眺めながら、次はどんなことに挑戦してみようか、ちょっと楽しい気分・・・。

<編集後記>

4月にカンボジアから広島大学の留学生としてやってきた Akhara さんと、先日前にお会いしました。e-dream-s のカンボジア・プロジェクトやNPOの活動についての話の一つ一つを、目を輝かせて聞いて下さったのが印象的でした。

5月の理事会にも参加されます。新しいものを一緒に創っていく仲間となつて下さることでしょう。若い力との出会いに感謝です。

(道面和枝)